

社協のマーク



社会福祉協議会

# 尾崎支部だより

No.39

平成20年1月15日発行

各務原市社会福祉協議会

尾崎支部広報委員会



「福祉のまちづくりフォーラム」が開催され、いろいろと今後の福祉の話を聞きました。その中から私なりに得たところを簡記すると、次のようになります。

◎ 少子高齢化の進行は、働き手が減少し、高齢者世帯、一人暮らし、など何らかの支援を必要とする人が増え、一方で核家族化が進み、子育てにも支え合っ、教え合う社会基盤が脆弱化し、親の孤立化が深まるなど、社会の連帯意識が希薄化して行く。

各務原市社会福祉協議会尾崎支部 支部長 林 光吉

会員の皆様、新年おめでとございます。年も改まり、それぞれ新たな決意を持ってスタートされたこと存じます。近年、少子高齢化の進行による社会問題への対応として、「福祉のまちづくり」が論じられております。

昨年十月に県福祉大会、十二月に県社協の「福祉のまちづくりフォーラム」が開催され、いろいろと今後の福祉の話を聞きました。その中から私なりに得たところを簡記すると、次のようになります。

## 福祉のまちづくりをめざして

◎ 社会全体の介護、医療、生活保障などの費用が増大し、行政による福祉対策に限界が生じ、合理化を理由に制度、予算の見直しが行われ、行政支援は後退する。

◎ その中で「地域住民が住み慣れた地域で、その人らしく安心して暮らし続けられる」ためには、公に頼らず、住民の自助努力により、互いに支え合い助け合っ、安心して暮らせる町を作ってゆかなければならない。

◎ そのためには、自治会、支部社協民生児童委員、近隣ケアグループ、シニアクラブ、その他の団体が従来以上に連携、情報交換を強め、先進地域に学ぶなどして新しい支え合っシステムを考えてゆく必要がある。

◎ そうして、住民の福祉への参加意識を高め、その協力のもと、ボランティア・ハウスの拡充、高齢者の交流、居場所づくり、日常的な支援活動、子育てサロンなど、ニーズに応じた活動が出来るように努めて行かねばならない。

このようなことを考えつつ、今年も支部社協スタッフ一同頑張つてゆきますので、皆様のご支援をお願い致します。

「二日に一度、身体を温めてみませんか」

三十年程前に開発された尾崎団地も、緑茂る丘陵にと変わると同時に、退職し自宅にこもり、地域の方との交流の機会も少なく、外に出にくくなった方も多くおられるのではないだろうか。「今日は他の人と一度も話していない」と時々耳にします。

坂道の多い、高齢者に住みにくい所と聞きますが、この坂を利用し歩いてみませんか、最近はずいぶん歩きました、奥様と二人連れ、お孫さん、娘さんと楽しく会話をしながら楽しんでおられる方が多くみえます。

顔を合わせ、「おはようございます」、「こんにちは」と大きな声で挨拶、ほんの二声掛けが地域溶け込みの第一歩ではないでしょうか。「二日に一度、身体を温めることは健康に大変よい」ことです。ご自分の体力に合った散歩道を作ってください。そして健康づくりに励んでください。

(福祉推進委員 平林 弘人)

「夢のある 明るいまちは 福祉から」



## ～コスモスの里から～



### 随想「日々のまじり」

尾崎に住まわせて頂き丸十九年が過ぎました。

来た当時、東・西もわからず、友も無く、淋しい思いをしまして、友達づくりにと、中日文化センターに煎茶の教室に四、五年通いました。

師範の免状も頂きましたが、近くの友でなければと思ひ、書道教室・石井先生と出会い、書を習うことになりました。

そのうち、老人会軽スポーツ、平成七年、詩吟教室にも参加させて頂き、平成十三年、ボランティア・ハウスが発足し、知人の誘いを受けて仲間にしてもらいました。

おかげ様で、大勢のお友達ができました。今では、運動公園を我が家のお庭のようにして、草引き、掃除と、花も少しずつできるようになりました。

毎週木曜日、ふれあい会館にも持っていくことがなにより嬉しく思っています。

ボツボツしか出来ませんが動けるうちにはきれいにしたいと思っていますので宜しくお願い申し上げます。

(南町二丁目 武山キミ)



ブルーベレー楽団の演奏・歌を楽しむコスモスの里の皆さん

(データ:平成19年10月1日現在)

町内	14歳以下	65歳以上	町内人口	年少率(%)	高齢率(%)
那加柄山町	76	20	341	22.3	5.9
那加北洞町	53	84	391	13.6	21.5
尾崎西町	929	212	3,121	29.8	6.8
尾崎南町	104	349	1,324	7.9	26.4
尾崎北町	1248	390	1,640	9.0	23.8
合計	1,310	1,055	6,817	19.2	15.5
各務原市全体	21,742	28,233	145,550	14.9	19.4

### 「尾崎校区の年少者と高齢者の構成比」

(事務局長 宇井 進)

「夢のある 明るいまちは 福祉から」

# 平成二十年 民生・児童委員及び主任児童委員の紹介

## ○ 民生・児童委員

謹んで新年の御祝辞を申し上げます。

私達、民生児童委員会は、「広げよう・地域に根ざした・思いやり」を、民生委員創設一〇〇周年に向けて行動宣言をしております。

一人暮らし高齢者の孤立・孤独をなくす声かけ、児童虐待や犯罪被害などから子どもを守るために行政と緊密に連絡を取り合い、又、生活困難家庭に強く接し、支援につなげるなど、社会福祉協議会、自治会等関係機関と連携しながら、地域福祉に努めたいと思っております。

どうか、一人で悩まないで、あなたの近くにあります民生児童委員にご相談下さい。今年度より、スタッフの一部が交代し、下記の体制となりました。旧スタッフ同様、宜しく願います。  
(民生児童委員 有我 尉)

河野加代子 那加山崎町四八の一  
担当地区 那加北洞町

犬飼睦子 尾崎北町の五〇  
担当地区 尾崎北町一〇の四棟

坂井美郎 尾崎南町の三九  
担当地区 柄山町、グリーンランド柄山、尾崎南町二のC-五、六棟

中神詠子 尾崎北町の四六  
担当地区 尾崎北町三、四、五

山下幸子 尾崎南町の三四  
担当地区 尾崎北町六、七、尾崎南町五、六

丹下時子 尾崎南町の六三  
担当地区 尾崎南町三、四、尾崎西町二のA-七、二〇棟

鵜飼博豊 尾崎西町の五の六  
担当地区 尾崎西町三のA-七、二棟

池田龍彦 尾崎北町の四四  
担当地区 尾崎北町二、尾崎西町二のA-三、二六棟、尾崎西町三のA-五、六棟

増田光世 尾崎南町の二の六  
担当地区 尾崎南町二、尾崎西町三のA-一、四棟

有我 尉 尾崎北町の五  
担当地区 尾崎西町一のB-五、二〇棟、C-九棟

主任児童委員 白井喜久枝 尾崎南町の七  
担当地区 〇小学校区

# 歳末地域福祉座談会

啓発委員長 酒向幸紀

「老後も安心して暮らせる、高齢者に優しい尾崎を目指して」と題して、「歳末地域福祉座談会」を十二月九日、総勢百二十名余りの参加者を得て盛大に開催しました。

来賓のご挨拶の後、アトラクションとして、「みんなのマジック各務原」による、マジック(手品)ショーを楽しんだ後、座談会を行いました。

この行事は、歳末たすけあい運動の特別事業として、地域で何らかの援助が必要な方や高齢者などにご参加いただき、日頃不自由を感じたり、困っていることなどをお聴きして、参加者相互の意見交換で解決を図ろうということで実施したものです。

この会を通して、悩みなどは自分一人で抱えてしまわないで、近隣の方、地域の方々や行政などにできるだけ相談していくことが大事であるということ、参加された多くの方が確認されたことと思います。

そのためには日頃から、地域の人たちがお互いに交流し合い、支え合っていくことが大切だと認識してほしいです。

このような座談会を通して、尾崎がさらに健康で明るく住みよいまちになるよう、地域の方々一人ひとりが考えていただく機会になればと願っています。



和やかな中にも貴重なご意見



酒向委員長も真剣



感嘆する参加者

## 予告 「脳の健康」講演会

十二月に予定していましたが「脳の健康」講演会について、講師の岐阜大学大学院医学系研究科の藤田雅文先生のご都合により、延期しておりますが、一月か二月には実施できる予定です。

## 第二回健康づくり教室

ふれあい委員長 水野忠義

平成十九年度、第二回目の「健康づくり教室」は、去る十一月十五日(木)午後二時三十分から尾崎中央ふれあい会館で開催されました。

講師は、岐阜市にお住まいで、日本レクリエーション協会公認の上級指導者、おなじみの糠塚順子先生でした。

内容は、「みんなで気軽にできる健康体操」で、先生のはつらつとした掛け声につられながら、運動による身体の健康と同時に頭を使う心の健康の両方を、簡単なゲームを楽しむ中で鍛えて頂きました。

参加者



六四名は、快い疲れを感じつつも、継続して自分にとって合った運動を毎日実行しようと思心に誓って帰りました。